

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 女性の就労を応援するために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

国全体の共働き世帯は年々増加し、1997年以降は共働き世帯が働く夫と専業主婦世帯を上回り、2015年には働く夫と専業主婦世帯687万世帯に対し、共働き世帯が1114万世帯となり、おおきく上回っています。働く女性が増えた背景には経済情勢や社会に対する不安もありますが、多様な価値観、生き方を女性も男性も選ぶことができるようになってきたという面もあります。しかし、男女が共に生活時間を大切にし、仕事との調和を図るワーク・ライフ・バランスの実現は道半ばであり、働きながらも家事、育児、介護を一手に担う女性は少なくありません。

小平市では、男女が自分らしくいきいきと暮らす社会の実現をめざして、小平市アクティブプラン21を策定し、男女共同参画を推進しています。長時間労働や男性中心型の労働を見直すことや固定化された性差による社会的役割をなくすことにより、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らす社会を目指すために以下質問します。

- 1、小平市の男女共同参画推進についての市民意識・実態調査では、小平市男女共同参画推進条例の認知度は2015年現在で3.4%です。認知度をあげるためにどのようなことを行いますか。
- 2、今年度行ったマザーズハローワーク立川就職支援ナビゲーターによる女性の就労支援講座について伺います。成果と参加人数、参加者の感想、今後の開催についてお示ください。
- 3、女性の就業、活躍支援のためにどのようなことを行いますか。
- 4、男性が家庭や地域で活躍するためにどのようなことを行いますか。
- 5、男女共同参画推進に向けて仕事と家庭生活の両立の意識と環境づくりが必要ですが、どのような取り組みをしていきますか。
- 6、職場における男女差別について、小平市の男女共同参画推進についての市民意識・実態調査では、感じられることはないと答えた人の割合は47.4%です。見解をお示ください。
- 7、子育て支援のためのファミリーサポートセンターの利用状況についてお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成29年11月16日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)